



平成29年3月6日

# 北町小だより

練馬区立北町小学校

校長 石井 友行

<http://www.kitamachi-e.nerima-ky.ed.jp/>

## 平成28年度 北町小学校アンケート結果のお知らせ

立春を過ぎましたが、まだ寒さが続いております。皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月、学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。大変遅くなりましたが、結果と改善点をお知らせいたします。今後とも温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

### 1 回収数と回収率

児童数 589名(98.5%) 保護者数 513名(84.2%) 教職員 30名(100%)

### 2 H28年度アンケート調査結果と考察

\*結果は%で表記しました。

\*「考察と来年度に向けて」は、アンケート結果の考察と、来年度に向けての主な改善事項について掲載しました。

\* &lt;評議員の皆様より&gt;では、学校評議員会に参加した皆様からいただいたご意見を掲載いたしました。

\* A:あてはまる B:ややあてはまる C:ややあてはまらない D:あてはまらない 未:未回答

&lt; やさしく &gt;

視点	質 問 項 目														
	保護者・教職員(共通)										児 童				
1 学級活動	学級活動を充実させて、お互いに認め、助け合える集団を育てている。										学校ではクラスの友達となかよく助け合って生活している。				
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	47.2	46.8	5.1	0.6	0.2	57.1	42.9	0.0	0.0	59.5	33.3	5.9	1.2	0.2	
2 交流活動	たてわり班活動や通常学級とすまいる学級との交流を通して、おもいやりの心を育てている。										たてわり班活動やすまいる学級との交流では、相手の気持ちやできることを考えて活動している				
	保護者					教職員					児 童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	52.0	40.4	7.2	0.2	0.2	17.9	78.6	3.6	0.0	45.9	42.8	9.3	1.9	0.2	
3 道徳教育	道徳教育を充実させて、子供の豊かな心を育てている。										人や生き物、自然に対して、思いやりの心をもって生活している。				
	保護者					教職員					児 童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	31.2	56.1	11.7	0.4	0.6	11.1	81.5	7.4	0.0	60.0	34.8	4.3	0.3	0.5	

4 3 つ の 「 あ 」	3つの「あ」（あいさつ、あつまり、あとしまつ）を重点に指導し、子供たちが実行できるようになっている					3つの「あ」（あいさつ、あつまり、あとしまつ）ができる。									
	保護者					教職員					児 童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	25.0	53.4	19.1	1.8	0.8	21.4	71.4	7.1	0.0	42.8	42.6	11.7	2.6	0.3	

<評議員の皆様より>

たてわり班活動は、子供たちにとって貴重な機会である。異年生の友達と交流することで受ける刺激は、他では得られないと考える。子供たちには、たてわり班を通して先輩から学んだり後輩を思いやったりしてほしい。

すまいる学級との交流はとてもよいことである。交流して互いの立場を理解し合うためには、子供たちと共に、保護者にも特別支援学級について理解していただくことが大切だと思う。この取組で相互の理解が進んでいると思う。次年度から始まる特別支援教室巡回指導にも期待している。

年度当初の保護者会の全体会で校長が説明をしている。また、新1年生の保護者会でもすまいる学級の担任が説明した。各学級の担任が必要に応じて保護者と話題にしなが、理解を求めていくこともある。社会科見学や遠足、学級の行事であるお楽しみ会もともに行っている。さらに児童集会でも交流している。今後もその機会を増やしていき相互理解を伝えていきたい。

校内でも校外でもきちんとあいさつできる子供が多い。大きな声でしっかりとあいさつができることは、とても良いことだと思う。学校の下駄箱を見ると、きちんと靴が揃っている。家庭や学校できちんと躰けられていると感じる。好ましいことである。

<考察と来年度に向けて>

#### 学級活動

平成27年度、28年度の練馬区教育課題研究校の指定を受け、本校は特別活動の「学級活動」で研究に取り組んできました。のぞましい人間関係を形成することを研究のねらいの一つとしており、友達の意見をしっかりと聞いたり、自分の考えを進んで言えたりできるような受容的な学級づくりを目指しております。児童の自己肯定感が67.8%から85%に高まり研究の成果がありました。今後もさらに認め合い、助け合えるような学級づくりに取り組んでまいります。

#### たてわり班活動

保護者、教職員、児童ともアンケートの結果は、当てはまるとやや当てはまると合わせるとほぼ9割の評価であった。たてわり班活動は児童や保護者の中に浸透しており、立場がその意識を高め、育っていくとのご意見をいただきました。さらに充実させるために、しっかりと評価を行い、成果や課題をとらえていきます。

#### すまいる学級との交流

本校では、すまいる学級と通常学級との交流として全学年共通として、学校行事の他、学年ごとの行事を行っています。また、各学年での交流給食、交流学習、6年生のすまいる学級への出張清掃を実施しました。すまいる学級との交流できる活動を学級会で議題にして取組を進めました。すまいる学級についての理解を深めるため、全学年学級にすまいる学級の担任が出向き、特別支援学級についての説明も行ってきました。「通常学級の児童や保護者に対し、すまいる学級を理解していただく努力が必要。」とのご意見をいただきました。さらに、互いの立場を理解し、行動する態度を育成したいと考えます。

#### 道徳教育

道徳授業地区公開講座で、本校の道徳教育についての取組とともに、平成30年に改訂される学習指導要領の「特別の教科 道徳」について説明しました。より主体的な判断の下に行動できる児童の育成をするために準備しております。また、人権教育についても道徳の授業との関連して、各教科、総合的な学習の時間等、あらゆる場面で進めて参ります。また、「いじめ防止対策推進法」に基づき「北町小学校いじめ防止基本方針」を作成し、いじめのない学校作りに取り組んでおります。年3回のいじめ防止月間の他、毎月児童の様子を把握するための聞き取りを行い、早期発見に努めております。ご心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。

#### 3つの「あ」

あいさつ週間には、保護者の皆様にご協力をいただきありがとうございました。今年度は、小中連携の活動の一つとし

て北町中学校の生徒と一緒に校門に立ち、あいさつ運動に参加してくれました。「元気なあいさつができることを期待している。」とのご意見をいただきました。あいさつは、まず教職員は範を示すことが大切と考え、根気よく取り組んでまいります。また、あとしまつや片付けについて、「さらに声かけが必要」との反省がありました。物の扱いについても併せて根気よく取り組んで参ります。これからもご協力をお願いいたします。

<かしくく>

基礎 基本 の 学習	朝の「北町タイム」などを実施して、基礎的、基本的な学習内容の定着を図っている。										北町タイムなどで、読んだり、書いたり、計算したりする力が身に付いている。				
	保護者					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D		A	B	C	D	未
	46.8	45.4	7.2	0.2	0.4	7.7	69.2	23.1	0.0		56.0	29.5	10.7	3.1	0.7
分かる・ できる 授業	学習のねらいが明確で、子供たちが「わかる」「できる」授業を進めている。										授業は楽しく分かりやすい。				
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D		A	B	C	D	未
	25.5	57.7	14.4	1.9	0.4	37.9	51.7	10.3	0.0		54.0	32.9	7.8	5.2	0.2
話す・ 聞く 力の 育成	色々な学習の場面で、話す、聞く、表現する能力の向上を図っている。										自分の考えをもって話したり、先生や友達の話聞き取ったりできる。				
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D		A	B	C	D	未
	30.2	58.3	10.7	0.6	0.2	16.7	83.3	0.0	0.0		47.1	39.3	11.4	1.9	0.3
読書 習慣 の 形成	週1回の読書タイムや読書月間などを通じて、読書を習慣化し、それらで得たことを学習に生かせるようにしている。										読書のタイムや図書時間は、本を楽しく読んでいる。				
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D		A	B	C	D	未
	42.9	42.1	13.3	1.2	0.6	57.1	35.7	7.1	0.0		67.2	20.3	8.6	3.6	0.2

<学校評議員の皆様より>

どの学年も、大勢の保護者や友達の前で発表する学習に取り組んでいる。学校公開で学習の発表をする様子を見てみると、これまでの学習の積み重ねが分かる。全学年が、学習発表を行うことはよい取り組みであると思う。

外国語活動について、どのような状況なのか。今後、英語の指導の充実が必要と思うが準備はすすんでいるのか。

30年度の実施に向けて、29年度においては、試行的な実施を行う予定です。低学年から外国語活動の時間を数時間試行的に活動を行います。中学年では時数をさらに増やしていきます。

図書館の利用が増えてきたように感じる。開放事業として行っている図書館の月1回のお話会の参加者も増え、定着してきた。

<考察と来年度に向けて>

**北町タイム**

北町タイムは主に、「漢字練習」や「漢字テスト」「計算練習」「音読練習」等、基礎的な学習内容の定着を図る学習を行っております。今後も継続を望む声をいただいております。短い時間を効果的に活用して参ります。

**分かる・できる授業**

算数は難易度が上がる3年生～6年生まで習熟度別学習を行っています。児童からも「コース別の学習を続けてほしい。」との意見が出ており、習熟度で分けて取り組むことで学習意欲の高まりが見られます。給食準備の時間を活用して算数で補充学習にも取り組みました。ICT機器の活用も積極的に進めてきました。保護者からのお声にもあるように、どの教科も子供たちが楽しく意欲的に取り組めるよう、研修を重ね個々に対応したより一層の充実を図ります。

## 話す・聞く力の育成

学級活動で自分の意見を発表することが、他の場面でも生かされ、言語活動が充実してきました。全学年が保護者の皆様への学習発表の場を設定し取り組んで参りました。それぞれの発表に対して賞賛をいただいております。普段の授業の中でもしっかり聞くこと、分かり易く話すことの学習を積み重ねて参ります。

## 読書習慣の形成

読書タイム、読書月間などの取り組みに高い評価をいただいております。図書館管理員の専門性を生かし、学校図書館の運営が円滑に進んでおります。読み聞かせ活動に多くの図書ボランティアが参加ありました。ブックトークや本の探検ラリー等、本に親しむ活動が充実してきました。さらに多くの方にご協力いただけるよう活動について呼びかけも進めて参ります。

## <たくましく>

体力向上	体育の授業を改善したり、外遊びを積極的に働きかけたりして、体力の向上を図っている。										体育の時間や休み時間には、進んで体を動かし、体力を高めようとしている。				
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	27.7	51.3	19.3	1.6	0.2	20.0	76.0	4.0	0.0	58.1	27.2	10.0	4.7	0.0	
心のたくましさ	様々な教育活動を通して、がんばる心を育てている。										色々な学習に、最後までがんばって取り組んでいる。				
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	28.8	57.1	12.3	0.6	1.2	17.2	79.3	3.4	0.0	53.3	36.7	7.2	2.6	0.2	
オリ・パラ教育	オリンピック、パラリンピック教育を通して、多様性を尊重する態度を育てている。										オリンピック・パラリンピックから、自分とちがう生活の仕方や考え方を受け止めようとしている。				
	保護者(%)					教職員					児童				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	A	B	C	D	未	
	32.2	46.6	18.5	1.8	1.0	24.1	31.0	44.8	0.0	46.0	36.4	12.8	4.3	0.5	

## <学校評議員の皆様より>

オリンピック・パラリンピック教育として、様々な取組が実施されて、意識が高まってきているか。

「オリンピック・パラリンピックの精神」「文化」「スポーツ」などのテーマで、28年度から計画を立てて進めてきました。「文化」、「国際理解」では、JAZZの音楽にふれ、シエラレオネについての講演会を行いました。「日本文化」について昔遊びについて地域の方々の協力をいただき学習しました。「スポーツ」では、パラリンピック卓球代表選手の講演と実技、一輪車ダンス世界チャンピオンの演技を見ました。「オリンピックの精神」では「オリンピックの意義」や「オリンピックの歴史」等について計画的に学んできました。

体力向上について、どれくらいの時間がとれるのか。体力は、体育の時間だけでなく遊びの中でもついていくものと考ええる。幼少時の経験も大きいのではないだろうか。いろいろな動きを身に付けることができるようになる。

## <考察と来年度に向けて>

### 体力向上・心のたくましさ

体力向上月間ではなわとびや持久走も継続して取り組み、それぞれの児童が目標を設けて楽しく取り組むことができ、がんばる心を育ててきました。次年度は、体力テストの結果等を基に目標をもって運動に取り組む児童を育てていきます。体育の学習の充実を図るとともに、外遊びをするよう声かけもしていきます。

## オリンピック・パラリンピック教育

オリンピック、パラリンピック教育を推進し、運動に対する関心を高めるよう取り組んできました。ゲストティーチャーの話や演技から目標をもって取り組む大切さを学ぶことができました。次年度においても「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」等についての学習活動を計画し、多様性を尊重する態度を育てていきます。

### <家庭・地域との連携>

地域との連携	どの学年も地域に関わる学習を設定し、地域の教育力を積極的に活用している。									
	保護者(%)					教職員				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	
	40.9	42.9	14.4	1.2	0.6	17.2	79.3	3.4	0.0	
家庭との連携	子供は、家庭での学習習慣が身に付いている。									
	保護者(%)					教職員				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	
	25.5	47.0	25.0	1.9	0.6	29.2	70.8	0.0	0.0	
情報発信	学校連絡メールやホームページなど、学校からの情報発信の方法を工夫している。									
	保護者(%)					教職員				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	
	45.0	45.0	8.4	1.2	0.4	6.9	44.8	48.3	0.0	

### <評議員の皆様より>

家庭学習の習慣については、家庭でも努力する必要がある。小学校から中学校へ進学すると、急な学習進度に戸惑う生徒も多いようである。そのために家庭学習の習慣を身に付けることは重要である。読書や音読など家庭でできることから取り組んでいきたい。

地域の協力を得て行っている北町インターンシップは、6年生の職業体験は他に類を見ない取り組みであり素晴らしい。2年生・5年生の取組もあり、よい学習活動ができている。

育成事業も盛んで、ハイキングや栗拾い等の育成行事への参加者が多い。低学年の参加が多く、高学年の参加も期待している。さらに青少年委員事業（ジュニアリーダー等）にも参加してもらえると新たな経験を積むことができると思う。

応援団や開放事業等を行っている、児童のあいさつはよくできていると思う。片付けについて、しっかりと行えないこともあり指導していく必要がある。

### <考察と来年度に向けて>

#### 地域との連携

本校の特色でもある地域とかかわりのある学習への取組に、高い評価をいただいています。保護者の皆様、地域の皆様のご協力にお礼申し上げます。活動の充実のため、保護者のご参加を呼びかけることもあります。より豊かな学習のため無理のない範囲でご協力願えると助かります。

#### 家庭との連携

家庭学習は、習慣を身に付けるために宿題の他、自主的に取り組む学習も必要です。「10分×学年」が家庭学習の時間の目安です。家庭での学習習慣を身に付けさせたいとのご意見に応えるため、ご家庭と連携して取り組めるようご協力をお願いいたします。

#### 情報発信

一斉メールについては、できるだけ早く情報を伝える努力をいたします。一斉メールの多様な活用についてご意見をいただきましたが、緊急対応のため、用途が制限されています。ご理解とご協力をお願いします。HPを楽しみにしていられる保護者も多いとのお声をいただきました。更新するよう努めます。

<教職員の資質の向上>

指導力の向上	学習環境を工夫して、児童が主体となって生き生きと活動する授業づくりをしている。									
	保護者(%)					教職員				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	
	28.1	54.0	15.0	1.8	1.2	23.3	76.7	0.0	0.0	
教職員の協力体制	全職員で協力して、子供たちが学びやすい環境をつくっている。 (施設設備等も含む)									
	保護者(%)					教職員				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	
	33.7	51.3	12.7	1.8	0.6	22.6	74.2	3.2	0.0	
教職員の規範意識	教職員は規範やモラルを遵守している。また、場に応じた服装や正しい言葉遣いができるようにしている。									
	保護者(%)					教職員				
	A	B	C	D	未	A	B	C	D	
	44.2	46.0	7.8	1.6	0.4	22.6	71.0	6.5	0.0	

<学校評議員の皆様より>

北町小学校は、たくさんの取り組みをしていると日頃から感じている。授業やアンケート結果をみると、教職員の日々の大変さや工夫・努力を感じる。職員に感謝し、これからも続けていただきたいと思う。

<考察と来年度に向けて>

教職員の資質向上について、概ね良いと80%以上評価をえました。指導力や協力体制において、さらに充実する必要があると感じており、29年度は、校内、校外での研究・研修を重ねるとともに、児童にとって充実した教育となるよう、教職員が一丸となって取り組んでまいります。

皆様のご意見をすべて全教職員で拝見し、検討いたしました。皆様からいただきました多数の貴重なご意見を、来年度の学校運営と教育活動に生かしてまいります。今後もお気付きの点がございましたら、遠慮なく学校へお寄せください。皆様と一緒によりよい学校にしていきたいと存じます。

平成28年度 学校評議員の皆様

民生・児童委員	小林 由美 様
民生・児童委員	高野 一明 様
学校歯科医	中田 郁平 様
元PTA会長・学校応援団団長	吉川 常昭 様
青少年第八地区育成委員会会長	栗原 邦彦 様
北町児童館長	沖野 一則 様
青少年委員・元PTA会長	浅野 勝也 様
北町中学校PTA会長	漆原 仁志 様
PTA会長	高橋 昌義 様